

日本歯周病学会における侵襲性歯周炎データベース構築に向けた考え方

「初診時年齢が永久歯列完成後から 35 歳未満で、歯周病が原因と考えられる垂直性骨破壊を 2 歯以上認める場合に、侵襲性歯周炎とする（第二大臼歯部の遠心は除く）。ただし、年齢が 35 歳以上で 45 歳未満にあっても、上記の骨破壊の条件を満たした場合で、35 歳未満に発症していることが確認できる資料（診療録または問診履歴等による）が存在する場合は、侵襲性歯周炎の疑いとする。」

上記基準を基に、以下のスクリーニングを行う。

初診時年齢 10 代 6 点 20 代 5 点 30 代 4 点 40 代 2 点
50 代 0 点

推定発症年齢（不明な場合は初診時年齢に準ずる）

10 代 3 点 20 代 2 点 30 代 1 点 40 代 0 点

喫煙歴 無 2 点 前喫煙者 1 点 現喫煙者 0 点

矯正治療の既往 無 2 点 有 1 点

歯周病に影響を及ぼす全身疾患 無 2 点 有（病名：_____）0 点

中切歯/側切歯の喪失または同歯周組織の破壊 有 2 点 無 0 点

大臼歯の喪失または同歯周組織の破壊 有 2 点 無 0 点

両側性の歯槽骨破壊 有 1 点 無 0 点

合計点：____点/ 20 点

.....
以下の項目は大学病院にて精査

問診等で早期発症年齢が確定できる場合は、上記の年齢の制約を受けない。

家族歴（祖父母・父母・兄弟及び子供の関連を疑う歯周病罹患） 無 有

根の離開が弱い 無 有

初診時のプラークコントロール PCR 値：____%

歯列不正 無 有

歯周治療歴 無 有

オーラルリハビリテーションの必要性（フレミタス、フレアアウト等）

無 有（症状・処置：_____）

広汎な補綴処置 無 有

細菌検査 無 有（結果：_____）

自由記載（課題や疑問点など：_____）

新分類：ステージ：_____ グレード：_____